

# 産地直送便



発行 (農) 山形おきたま  
産直センター  
山形県南陽市漆山 1068  
TEL 0238 (47) 7338  
<http://www.okitama.net>  
2014. 6. 1 発行  
責任者 星 隆之

## ～田植え～



みなさんこんにちは。青年部の安部淳一です。  
5 月中下旬からあちこちで田植えが始まりました。  
今年は天候に恵まれ、田植えも順調に進んでいます。  
私の家では、雑草を抑えるために紙を敷きながら苗を植  
える紙マルチ田植えを行っています。

今回は、田植えのお話という事で植える苗について少し  
語りたいと思います。私たちは、農薬や化学肥料に頼らず、強い苗を作っています。種籾時には「温湯処理」とい  
う方法で病気の原因となる細菌等を滅菌します。育苗時には「プール育苗」という技術でカビ系の病害をおさえ、  
均一で強い苗を作ります。こうして育った苗は、田植え後もイネミズゾウムシ等  
(イネ科の新葉を摂食する虫)の害虫の被害も抑えられるのです。  
という訳で、私たちは作業一つ一つにこだわって、美味しいお米を作ろうとし  
ているという訳です。



有機米/果樹生産者 安部淳一

## ～アスパラガス～

野菜部会副会長 後藤英典

雪水をたくさん含んだ大地から我先にと出てくる春取りのアスパラガス。  
今年は、4月に雨が少なく収量が前年比約 30%少なかったのですが、5月中旬頃から適当な雨が降った  
ので、一安心しているところです。

6月中旬から、来年の春収穫の養分を根っこに蓄えるため  
に約 1ヶ月程度収穫がやすみになります。

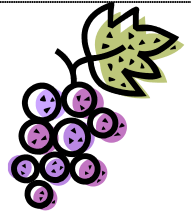
9月下旬までは、毎朝 4:30 から収穫、選別、出荷の繰  
り返しです。

美味しいアスパラを多くの消費者の方に食べて頂けたらさ  
いわいです。





## ～ぶどうジベ処理～



今回は、ぶどう(デラウエア)のジベレリン処理について紹介  
します。デラウエアは、2回ジベ処理を行います。

1回目は種を無くすため、2回目は果実肥大のためです。  
より気をつかうのは、1回目のほうで、時期が早いと、房  
が長くなり粒が着かなくなることがあり、遅れると、房が短くな  
り粒が密着しすぎて、その後の摘粒作業が大変になります。  
また、処理前後の天候でジベレリンの吸収のされ方も変わっ  
てきます。

乾燥し過ぎていると、十分に吸収される前にジベが乾いてし  
まい、種有りの粒が混じることもあります。こういったことから、  
本当に気をつかいますし、栽培上重要なポイントの1つだと  
思います。

ちなみに、ジベ処理をしたことがある方は、「ジベ＝赤い」というイメージを持っていらっやると思いますが、あれ  
は目印のために入れてある食紅等の色で、ジベレリンだけを溶かした溶液は透明です。

果樹部会長 近野 肇

## 産直米変更連絡用紙 山形おきたま産直センター行き→FAX 0238-47-7318

お休みや重量変更などのご連絡は、お届け日の10日前まで受付。  
急な変更等是对应出来ない場合がございます。早めのご連絡をよろしくお願い致します。

お客様コードNO	FAX 送信日		月	日
氏名	様	☎	—	—
<input type="checkbox"/> お休み連絡	月	日お届け分のみお休み		
	月～	月までお休み		
<input type="checkbox"/> 変更連絡	月	日お届け分の変更		
～変更内容～				